

医院名 1100. けんじ歯科医院  
 氏名 [REDACTED]  
 カナ [REDACTED]  
 生年月日 [REDACTED] 性別 [REDACTED]  
 カルテNo [REDACTED]

受付日 2025/07/11  
 採取日 2025/07/04  
 報告日 2025/07/15

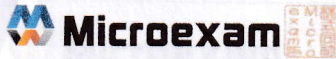
検査項目	測定値	単位	基準値	対総菌数比率	単位	比率クラス
総菌数 (Total bacteria)	320,368	Copies	—	100.00	%	0 1 2 3 4
<i>P.g</i> 菌	限界以下	Copies	1,000以下	限界以下	%	*
<i>T.d</i> 菌	限界以下	Copies	1,000以下	限界以下	%	*
<i>T.f</i> 菌	限界以下	Copies	1,000以下	限界以下	%	*
Red Complex	0	Copies	3,000以下	0.00	%	*
<i>P.g</i> 菌 Type II*	限界以下	Copies	—	—	—	→
<i>A.a</i> 菌*		Copies	0	—	—	良好 改善 注意
<i>P.i</i> 菌*		Copies	1,000以下	—	—	
<i>F.n</i> 菌*		Copies	1,000以下	—	—	
<i>Treponema</i> 属*	385	Copies	—	—	—	

基準値：生田のデータに基づく参考基準値

検出限界以下：本法では、10copies以下を検出限界以下(表記：限界以下)としています。(A.a菌を除く)

比率クラス：良好：0 改善を要す：1~3 注意：4

検査責任者 生田 図南



※対総菌数比率の対象外です。(P.g 菌 Type II・A.a 菌・P.i 菌・F.n 菌・Treponema 属)

略称	<i>P.g</i> 菌 (1,000以上)	<i>T.d</i> 菌 (1,000以上)	<i>T.f</i> 菌 (1,000以上)	<i>P.g</i> 菌 Type II
菌の特徴	重度の歯周病(急性・慢性歯周炎)から検出されます。歯肉の炎症の程度と本菌の量に相関性が見られます。	<i>T.d</i> 菌が多いと歯周病の治療後に再発する可能性が高いとされる報告もあります。歯に相関性が見られます。	特に歯周ポケットの浅い部分よりは深い部分で検出される事が多い菌です。難治性歯周炎の指標として重要な菌種です。	<i>P.g</i> 菌は、6種類の遺伝型に分類され重度歯周病では、約90%がII型との報告もあります。歯周病になりやすさ(odds比)も44.44倍と高値を示しています。
略称	<i>A.a</i> 菌 (0)	<i>P.i</i> 菌 (1,000以上)	<i>F.n</i> 菌 (1,000以上)	<i>T</i> 属 (未設定)
菌の特徴	重度歯周病の歯周ポケットから高率に検出されますが、比較的低い値で検出される事が多い菌種です。	女性ホルモンによって発育が促進され、妊娠性歯周炎や月経周期関連歯肉炎の発症に関連が深い歯周病の原因菌です。	歯周内科治療を行う上で非常に除菌しにくい菌です。また悪臭(口臭)の原因となる酪酸を産生する菌種です。	<i>Treponema</i> 属は <i>T.d</i> 菌を含む口腔スピロヘータであり、症状の重篤化により増加してきます。
Red Complex	0~3,000以下	3,001~10,000以下	10,001以上	Red Complex
判定基準	非常に良い状態です。このまま維持してください。	やや細菌が増加しています。掛かりつけの歯科病院にご相談下さい。	非常に多く細菌が検出されています。掛かりつけの歯科病院にご相談下さい。	Red Complexとは、 <i>P.g</i> 菌・ <i>T.d</i> 菌・ <i>T.f</i> 菌の3菌種を合わせたもので、歯周炎の患者さんの歯肉縁下菌叢で増えることから、病原性の高い菌種です。
<i>A.a</i> 菌	0	1以上		
判定基準	このまま維持して下さい。	治療が必要です。		

◆対象菌数比率(リスク判定値)

<i>P.g</i> 菌	0.49%以下 <sup>①</sup>
<i>T.d</i> 菌	0.49%以下 <sup>①</sup>
<i>T.f</i> 菌	0.49%以下 <sup>①</sup>
Red Complex	1.47%以下 <sup>②</sup>

◆比率クラス

クラス	0	1	2	3	4
評価	良好	口腔の「改善」をお願いします。			注意

※① 南カリフォルニア大学文献より引用  
 ※② 上記データを基に設定(自社設定)